

協力隊体験記



「2期目」

この度の任期満了に伴つ町長選挙におきまして、多くの町民の皆さまの温かいご支持とご支援を賜り、無投票にて当選させていただき、引き続き一期目の町政を担わせていただけられることになりました。

「うむ、私にやらせて誠に光栄な」とであり、これにまさる喜びせうやうらませんが、それだけに責任の重大さを痛感し身の弓も縮まる。思ひであります。

改選にあたりまして、多くの町民の皆さまから様々なる意見やご要望等を賜りましたので、そうしたことを日々心に刻み、町民の皆さまの期待や夢を大切に受け止め、その実現に向けて誠心誠意尽くして参る覚悟でござります。

私は、一期目の町政運営の基本を、
①住民福祉の向上と心の豊かさ
を実現するため、地域医療の
確保、子育て・高齢者支援を
重要施策として取り組む「福
祉でまちづくり」を推進する
こと。

④町民とともにふるさと小清
水の産業と自然を守り、地
球に優しい行政運営を行う
こと。

⑤行財政改革の推進など町財
政の健全性を維持しつつ、
誠実で公正・公平な町政を
行うこと。

とし、町民の皆さん方の声を町政に
反映させ、町民と行政が一帯となっ
てまちづくりに取り組む姿勢ですの
で、一層のご支援とご指導を賜りま
すようお願いいたします。

今日の社会経済情勢における市町
村をとりまく環境は大きな変革を
迎えており、とりわけ少子・高齢化
の進行は、年を追つごとに急速に進
んでおります。

「田井田立のまちづくり」を基本に小清水町が将来にわたって安定した歩みが続けられるよう、安心して働き暮らせる、そして将来を担う子供達に誇れるまちづくりを実現をするため、職員と共に一生懸命汗を流して参りますので、町民の皆さまの更なる理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のじあらわいとわせていただきます。



A portrait of a young man with dark hair, wearing a light blue shirt, standing outdoors in a field.

地域おこし協力隊
小清水町観光協会

吉田 文哉

小清水町に来てから早いもので4ヶ月が経ちました。雪や真夏日が続く日々に驚きながらも、北海道を肌で感じ少しづつ慣れ、新鮮な毎日を過ごしています。

める事が町内にはあります。そうした慣れ親しんでくる町内の今ある資源を活用し、観光協会職員と共に小清水町を町外に広めていきたいと思っております。

町民の皆さんやオホーツク管内在住者の方を対象とした「レ

これからいや毎日の暮らしに楽しさでいただけよう、小清水町の魅力を発信していくこと思ひます。

現在の業務は、保健福祉課で高齢者の皆さんに対する運動のサポートをさせていただいている。ふれあいセンターで行っている運動教室のサポートや、次回「あきの元気教室」では運動プログラム作成・指導をさせ

地域おこし協力隊
保健福祉課
なめだ
滑田 理絵

滑田 理絵

れました。自分も帰国をした後は、今までの経験を生かして住民の皆さんと一緒に町を盛り上げていきたいと思う、地域おこし協力隊に応募しました。

を行つてゐます。イベント開催についても、個人でも楽しめる「ぬりえフェス」(9月30日まで)や「藻琴山に登つてあこぎ」キャンペーン(10月31日まで)

5月より地域おこし協力隊に着任した滑田理絵です。生まれも育ちも大阪で、前職は運動施設でインストラクターをしていました。

その他にも、9月から開催されてる20代から50代の働く世代向けの事業「〇〇ヒーフィットネス」にも従事させて頂きます。

小清水町は、煙、山、海、湖、鳥など自然に溢れている町です。煙では名産のじゃがいもや小麦の生産。夏には小さな子どもと一緒に登山ができる藻琴山。冬

などの企画を行っています。

現在は小清水町の良い所を紹介できるように、少しづつですが観光協会ホームページの更新を行っており、今の時期でしか

運動を通して健康づくりや、地域おこしに携わりたかったら、小清水町にきました。

これから、運動を通じて小清水町の地域活性に貢献していくたいと思いますので宜しくお願ひいたします。